

「ブラザーグループ中期環境行動計画2015」(2011~2015) 2011年度の目標と実績

自己評価/「○」:達成、「-」:評価しない、「×」:未達成

重点施策	中期環境行動計画目標	2011年度目標	2011年度実績	自己評価
<b>1. 環境配慮製品</b>				
1-1 各国環境ラベルの積極的な取得と新基準への対応	(1) ブルーエンジェル、エコマークをはじめとしてエナジースター、ノルディックスワン、EPEAT、中国十輪マークなど、販売拠点の要望に確実な対応を図る。	該当全製品に関してラベル取得を100%とする。	全製品において達成。	○
	(2) ブルーエンジェル、エコマーク新基準(2012年以降)にも適合し、継続して取得する。	新基準適用は2012年度以降。	-	-
1-2 製品の省エネ性向上	(1) 該当製品はエナジースター、ブルーエンジェル、エコマーク、中国能效、日本のトップランナー基準など、各種省エネ基準に全て適合する。	該当全製品に関して省エネ基準に適合する。	全製品において達成。	○
	(2) 各々のカテゴリーで業界トップレベルの省エネ性能を達成する。	新基準適用は2012年度以降。	-	-
1-3 エミッション(TVOC、UFP、騒音など)基準への適合	(1) 基準に対して十分な余裕を持って適合する。	該当全製品に関して基準に適合する。	全製品において達成。	○
	(2) ブルーエンジェル新基準、独新法(UFP)などの新基準にも適合する。	新基準適用は2012年度以降。	-	-
1-4 リサイクル材料の使用率・量の拡大	該当製品全てで、拡大する各種基準に適合する。	該当全製品に関して基準に適合する。	全製品において達成。	○
1-5 リユース・リサイクル性の向上(本体、消耗品とも)	(1) 消耗品再生事業で再生工数削減のための設計の推進、交換部品の削減・低コスト化を図る。	現状把握と課題抽出。	課題抽出、2012年度目標設定完了。	○
	(2) クローズドマテリアル使用可能部品の拡大を図る。			
1-6 梱包最適化の推進による物流コスト・CO <sub>2</sub> 削減	(1) 物流コスト削減のため、梱包最適化と物流でのCO <sub>2</sub> 排出量削減を両立する。	2012年度に継続。	-	-
	(2) 適正材料の選定およびサイズ、重量の削減を推進する。			
<b>2. 事業所の環境負荷削減</b>				
2-1 グループ全体のCO <sub>2</sub> 排出量削減	物流を除き、国内事業所、海外生産拠点、海外販売拠点をグループ全体で総計し、年率1%のCO <sub>2</sub> 排出量を削減する(売上高原単位比)。	2011年度の目標設定なし。	2013年度に目標設定。	-
2-2 国内8事業所のCO <sub>2</sub> 排出量削減	年率1%のCO <sub>2</sub> 排出量を削減し、2015年度のCO <sub>2</sub> 総排出量を1990年度比25%減とする(絶対値)。	2010年度比1%削減。	省エネ活動を展開し2010年比3.1%削減。	○
2-3 海外生産拠点(USA除く)のCO <sub>2</sub> 排出量削減	年率1%のCO <sub>2</sub> 排出量を削減する(売上高原単位比)。	同上。	急激な円高が削減を上回り1.5%増加。	×
2-4 物流CO <sub>2</sub> 排出量削減	排出量のマネジメント基準を定め、年率1%のCO <sub>2</sub> 排出量を削減する(原単位比)。	2011年度の目標設定は無し。	2013年度に目標設定。	-
2-5 生産拠点での水使用量の削減	2015年度の水使用量を2010年度比で5%削減する(売上高原単位比)。	同上。	同上。	-
2-6 海外生産拠点での環境保全活動のグローバルマネジメント	生産拠点所在国の環境法規制の順守や廃棄物の適正処理などを、グローバルに管理する体制を構築する。	同上。	同上。	-
2-7 ISO 14001の取得	新規生産・販売拠点はISO 14001を取得する。	2011年度対象事業所は無し。	-	-
<b>3. 法規制と社会動向への対応</b>				
3-1 グローバルな化学物質規制への対応	(1) REACH、RoHS、TSCAなど、関連する製品含有化学物質規制法に確実に対応する。	対応100%。	達成。	○
	(2) 製品含有化学物質管理の戦略を立案し、2015年度に業界トップレベルの水準に到達する。	2012年度に継続。	-	-
3-2 グローバルな製品省エネ規制への対応	ErP、ロシア製品規制、韓国エネルギー法、中国能效、日本省エネ法など、関連する製品省エネ規制法にトップレベルの省エネ性能で対応する。	対応100%。	達成。	○
3-3 拡大する製造者責任への対応	(1) WEEE/包装材指令などに対応するための当局への提出データの精度を向上させる。	提出データの精度向上に向けて、工場出荷時に製品を計量し、重量変動の確認を開始。	達成。	○
	(2) 製品のクローズドリサイクルシステムをグローバルに構築する。	2012年度に継続。	-	-
	(3) 消耗品のリサイクルシステムをグローバルに拡大し、各統括販売社への展開を目指す。			
3-4 製品に関する総合的な環境情報の開示	(1) グローバルで製品の環境負荷情報を開示する。	販売社に対し新製品開示100%。	達成。	○
	(2) エコデクラレーション(ECMA370)に沿った製品情報を開示する。			
3-5 認証紙の採用	FSCなどの認証紙の採用を推進する。	2011年度の目標設定は無し。	-	-
3-6 グリーン調達推進	(1) 取引先(サプライヤー)への監査や教育を強化し、環境に対する意識を高めて法順守を確実なものとする。	新システムの導入準備。	新グリーン調達システムの導入準備を完了。	○
	(2) 包装材原料紙の原産地、違法伐採、リサイクルなどの管理体制を構築する。	対象工場でのリサイクル率の把握(5工場)。	対象となる5つの工場で、包装材のリサイクル率把握調査を完了。	○

「ブラザーグループ中期環境行動計画2015」（2011～2015） 2011 年度の目標と実績

自己評価/「○」：達成、「-」：評価しない、「×」：未達成

重点施策	中期環境行動計画目標	2011年度目標	2011年度実績	自己評価
<b>4. 環境コミュニケーション</b>				
4-1 マーケティング活動と一体となった「Brother Earth」の展開	新製品や新事業での環境配慮、ソーシャルメディアを含めたWebサイトからの環境情報の発信、ブラネタリウム「Brother Earth(ブラザーアース)」のPRを通じた環境訴求などを推進する。	・環境スペシャルサイト(www.brotherearth.com)を通じた、製品の環境情報提供を強化。 ・ブラネタリウム「Brother Earth(ブラザーアース)」における発信。	・お客様向け製品環境情報ページの追加。 ・ブラザー公式Facebookページのリリース。 ・ブラネタリウム「Brother Earth(ブラザーアース)」オープン1周年記念イベント開催。	○
4-2 生物多様性保全を中心とした環境社会貢献活動の推進	生物多様性保全のための環境社会貢献活動をグローバルに、各地域で従業員参加のもと実施し、その一部を環境スペシャルサイトのクリック募金対象活動として掲載し、ステークホルダーの参加も促す。	20拠点で環境社会貢献活動を開始。	生物多様性の保全を主な目的に日本・タイ・中国・メキシコ・イギリス・南アフリカなど、15拠点で22件の活動を実施。	×
4-3 従業員の環境意識向上を通じた地球温暖化防止の推進	ブラザーエコポイント活動をグローバルに推進するとともに、拠点別の環境貢献度の測定も進め、従業員の環境意識を向上させることで、グループ全体のCO <sub>2</sub> 排出量削減目標の着実な達成を実現する。	ブラザーエコポイント活動未導入拠点10拠点中、7拠点で導入。	ブラザーエコポイント活動の導入を新たに7拠点で完了。	○
4-4 製品の環境配慮情報およびグローバルな環境活動情報の開示	製品ごとの環境配慮情報、グローバルな環境活動情報、地域ごとの環境活動情報などを、各拠点のWebサイトを通じて効率よく、タイムリーに提供する。	各種環境WEBページのあるべき姿を構築。	環境情報の掲載分けに関する考え方を構築。	○